



平成 19 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社オーエー・システム・プラザ  
代 表 者 代表取締役社長 大 喜 章 徳  
( J A S D A Q ・ コード 7 4 9 1 )  
問い合わせ先 執行役員総務部長 岡 田 晃 生  
電 話 番 号 0 5 2 - 2 6 3 - 8 6 5 0

## 特別損失の発生および平成 19 年 3 月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 19 年 2 月 2 日付当社「平成 19 年 3 月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しました業績予想を下記のとおり修正いたしますので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生およびその内容

長引く証券市場の混乱による投資有価証券の評価損として 38 百万円、建物及び什器等の減損損失として 80 百万円の特別損失が発生する見込みであります。

#### 2. 業績予想の修正および理由

##### (1) 平成 19 年 3 月期の業績予想の修正

(連結)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,700	70	△125
今回修正 (B)	12,458	39	△228
増減額 (B-A)	△242	△31	△103
増減率	△1.9%	△44.3%	—

(個別)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	6,700	△130	△220
今回修正 (B)	6,735	△58	△262
増減額 (B-A)	35	72	△42
増減率	0.5%	—	—

##### (参考) 平成 18 年 3 月期（実績）

(個別)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
通 期 (4/1～3/31)	8,125	2	68

(注) 当社は、前連結会計年度において、連結子会社のみなし取得日を当社の決算日としているため、連結損益計算書を作成しておりません。

(2) 業績予想の修正理由

(連結)

IT・デジタルメディア・コンテンツ事業について、株式会社ダイヤモンドエージェンシーは、広告部門の売上において3月度の年度末需要が4月以降にずれ込んだことなどにより売上減となり、また中期計画に必要である外注コスト削減のための自社制作スタッフ増のため人件費が増えた結果、経常利益が前回予想を下回る予定です。株式会社パナッシュは人材の確保が計画通り進まなかったと同時に、例年発生していた紹介予定派遣の売上が急激に減少した為、利益見込みの減額となりました。株式会社ディーアンドアール・インテグレイツは当初の計画通り順調に推移しました。以上のような状況により前回予想に対し、売上高は2億42百万円の減少、経常利益は31百万円の減少、当期純利益は1億3百万円の減少になる見込みです。

(個別)

パソコン業界においては約5年ぶりとなるマイクロソフト社の新OS「WindowsVista」が本年1月30日に発売になり、2月度の市場動向としては一定の買い替え需要が喚起されました。

前回業績予想において「WindowsVista」発売による業績への影響はPC販売事業における通期の業績回復までには至らないものと予想し、買い換え・買い増しにターゲットを絞り、また商品販売以外のサービス部門の強化を行って参りました。その結果、売上については予想を35百万円上回る見込みとなりました。また、当期純利益につきましては、今回の特別損失の発生が影響するものの、サービス部門の強化が功を奏したことにより経常利益が前回予想に対し72百万円上回ることとなり、これに伴い前回予想に対し42百万円の減少に留まる見込みとなりました。

[注記事項]

業績予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上